

ときめき



去る6月6日(月)土岐小学校5年生児童95人と桔梗幼児園児75人が、土岐川河川敷の水辺の楽校の花壇に花の苗を植えました。小学生児童は園児に優しく手を添えたり、抱っこするなどして小川を渡り、「花いっぱい咲いてね」と願いを込めて、楽しく苗を植えました。

土岐地区まちづくり総会 平成23年度役員・事業活動決まる!

平成23年度、土岐地区まちづくり推進協議会が5月14日(土)午後7時、消防防災センターにおいて、開催され事業計画が決定しました。詳しくは別紙をご覧ください。また、ご意見ご要望等ございましたら、各地区担当の役員に申し出てください。一年間宜しくお願い致します。



土岐地区ふれあい夏まつり開催について

土岐地区恒例の“ふれあい夏まつり”を開催します。

今年は、国内外で活躍中の和太鼓奏者 加藤拓三氏を招いての開催です。

開催日時 7月30日(土)
16:00~19:00

会場 土岐小学校グラウンド
(雨天 体育館)

食べ物コーナーを始めとして、楽しんでいただく各種コーナーも沢山設けておりますので、ご家族様お揃いでお出かけください。

詳しくは後日チラシを各ご家庭に配布します。



青パト隊員募集!!



まちづくり生活環境部会では、安全・安心なまちづくりの一助となるよう、青色回転パトロールを実施しています。地域の安全・安心なまちづくりのために、青パトにご協力をお願いします。

パトロールの時間帯は、昼間の部が毎週月曜日、午後3時30分から午後4時30分まで、夜間の部が毎週、月・金曜日の、午後7時から午後8時までとなっています。青パト事務局(瑞浪市役所内)担当:日比野 TEL68-2111(内線317)

交通安全教室

5月30日(月)土岐小学校グラウンドにおいて、3年生を対象に自転車の交通安全教室が開かれました。グラウンドには、公道と同じように、横断歩道、信号機、S字カーブ等が設けられ、警察・交通安全協会の方々の指導のもと、真剣に取り組んでいました。



花いっぱい運動

6月3日(金)土岐小学校あひる学童クラブ、更生保護女性の会会員の皆さんと一緒に、ペゴニアとサルビアを花壇に植えました。きれいな花がいっぱい咲くといいですね。



土岐川清掃

6月5日(日)土岐川清掃に引き続き、区長会とまちづくり推進協議会が合同で、土岐川河川敷の草刈および立木の伐採を行いました。

総勢60名を超える方々にご参加いただき、桔梗幼児園前から上流に向かって作業を行いました。

次回は12月の土岐川清掃の後に実施する予定です。引き続きご協力をお願いします。



土岐小野球スポーツ少年団県大会出場

全国大会を目指して

土岐小野球スポーツ少年団は4年生から6年生まで44名の団員で活動しています。毎週土曜日グラウンドいっぱい元気に走り回っています。

今回、6年生19名が瑞浪市、恵那市の代表として高山市で開催された高円宮賜杯岐阜県大会に出場しました。強豪ぞろいの中戦ってきました。



人間マップ



日比野 准さん(60歳)
土岐町益見 在住

豆雛・芥子雛に笑顔を求めて

雛壇に飾られた豪華なお雛様、そんなお雛様も、子どもさんが小学校の高学年になる頃には、押入れの奥だとか、倉庫の奥で日の目を見ることもなく眠ってしまうご家庭も多いかと思います。それは子どもさんが成長したことにもよりますが、出し入れの大変なことや飾ることの手間、そして場所をとることも大きな理由だと思います。でも、一寸待ってください。出し入れが簡単で、飾る手間が省けて、しかも場所をとらず、玄関先でも、居間でも簡単に飾ることが出来るとしたらどうでしょう。飾りたいですね。それが豆雛です。

今回は、そんな豆雛作りに魅せられて30年。定年を機にますます情熱を傾けられる日比野准さんをお訪ねしお話を聞きました。

日比野さんは、会社勤めをする傍ら、平成9年に町内のOGギャラリーを手始めに、中電中津川営業所ギャラリーにて個展を開催されました。

其の後、平成18年からは愛知県日進市の森の響にて毎年個展を開催するほか、市内は勿論、市外・県外と積極的に個展を開催しておられます。そして、平成12年には、NHK名古屋放送局にて、“おしゃべりランチ”に出演、平成19年には、岐阜県博物館にて土雛絵付け教室の講師を務めるなど、各地で開催される豆土雛の絵付け教室にも講師として精力的に活躍しておられます。

そもそも日比野さんが豆雛作りに魅せられた動機は、奥様のサークルで子ども達の絵付け教室があり、そのお手伝いをしたのが切っ掛けだそうです。もともと日比野さんは高校の窯業科を卒業後、窯業関係の会社に勤務され、作陶も手掛けておられたことから、奥様のサークル活動のお手伝いは、“渡りに船”だったのではないのでしょうか。

日比野さんの作品についてのファンは、おばあちゃんが圧倒的に多いとのことですが、そんなおばあちゃん達の意見として、“もう少しキリッとした顔立ちにして、顔を小さくすれば、もっと良くなる”と言った意見が寄せられるそうですが、日比野さんの最終目標は、顔の表情にあるそうです。それは、子どもが生まれて、三歳頃までの笑顔の豆雛を作ることだそうです。ですから、八頭身美人ではなく、作品の多くは顔の大きな幼児の顔だとおっしゃる。

なるほど、やはり作品は総て作者の心がどこにあるのか理解して見るとまた一段と面白さが味わえることを改めて知ることが出来ました。ありがとうございました。

日比野さんの今後のますますのご活躍をお祈りいたします。



広報“ときめき”原稿募集

企画広報部会では、広報ときめきの原稿を募集しております。土岐地区での“あんなこと”“こんなこと”小さな行事・出来事等で構いませんので、写真を添えて、まちづくりの委員さん、または下記までご連絡ください。沢山の原稿をお待ちしております。

企画広報事務局(瑞浪市役所内)担当:高橋 TEL68-2111(内線249)

発行元 土岐地区まちづくり推進協議会
編集 企画広報部会
連絡先 瑞浪市役所内 TEL68-2111 (内線249)高橋
発行日 平成23年7月